



所内生物調査

生物多様性センターでは、敷地内にあるビオトープ池や草地、樹木などで生息・利用している生物相を把握するため、定期的に所内の生物調査を実施しています。

調査内容

- 日々の業務中や休憩時間に観察された種を記録しています。
- さらに、四季ごとに1回の頻度で季幅広い生物相の一斉調査を行っています。
- 一斉調査では、生物多様性センターサポートスタッフの方々にも協力いただいております。



調査風景（左：昆虫調査、右：植物調査）



サポートスタッフの方々と実施した一斉調査の様子

確認された生物

- 2020年度の調査では、植物71種、鳥類45種、両生類4種、爬虫類6種、哺乳類2種、魚類12種、昆虫類等126種の合計**266**種が観察され、生物の多様性が高いことが明らかになりました。
- 鳥類では、水場を利用するカモ類、サギ類や、猛禽類のオオタカ（絶滅危惧種）なども確認されました。
- 昆虫類では、チョウ類、トンボ類が多く確認され、春から秋にかけてそれぞれ**28**種、**25**種が確認されました。



オモダカ



オオタカ



ヌマガエル



シマヘビ



キツネ



ツマグロヒョウモン



台湾ウチワヤンマ



アオモンイトトンボ